

電 力 情 報

NO . 5 1

平成 2 3 年 1 0 月 2 8 日

東 北 電 力 (株)

9 月 分 の 電 力 需 給 実 績 に つ い て

1 . 電 力 需 要 に つ い て (表 - 1 参 照)

9 月 分 の 販 売 電 力 量 は、 6 1 億 6 , 9 0 0 万 k W h、 対 前 年 比 8 5 . 5 % の 実 績 とな り、 東 日 本 大 震 災 の 影 響、 節 電 等 へ の ご 協 力、 前 年 の 高 気 温 の 反 動 な ど に よ り、 7 カ 月 連 続 で 前 年 実 績 を 下 回 り ま し た。

用 途 別 の 実 績 に つ い て は、 以 下 の と お り で す。

○ 特 定 規 模 需 要 以 外 の 需 要 (自 由 化 対 象 以 外 の お 客 さ ま)

電 灯 は、 東 日 本 大 震 災 の 影 響、 節 電 へ の ご 協 力、 前 年 の 高 気 温 の 反 動 な ど に よ り、 対 前 年 比 8 6 . 3 % の 実 績 とな り ま し た。

特 定 規 模 需 要 以 外 の 需 要 の 合 計 で は、 対 前 年 比 8 5 . 5 % の 実 績 とな り ま し た。

○ 特 定 規 模 需 要 (自 由 化 対 象 の お 客 さ ま)

業 務 用 電 力 は、 東 日 本 大 震 災 の 影 響、 節 電 へ の ご 協 力 な ど に よ り、 対 前 年 比 7 9 . 1 % の 実 績 とな り ま し た。

特 定 規 模 需 要 の 合 計 で は、 対 前 年 比 8 5 . 5 % の 実 績 とな り ま し た。

な お、 産 業 用 そ の 他 電 力 に つ い て は、 大 口 電 力 が 大 き な ウ エ ー ト を 占 め て お り、 そ の 概 要 は 以 下 の 参 考 の と お り で す。

[参 考]

○ 大 口 電 力

大 口 電 力 は、 東 日 本 大 震 災 の 影 響 な ど に よ り、 対 前 年 比 8 9 . 2 % の 実 績 とな り、 7 カ 月 連 続 で 前 年 実 績 を 下 回 り ま し た。

2．供給力について（表 - 2 参照）

9月の発受電電力量の合計は、64億3,700万kWh、対前年比88.7%の実績となり、東日本大震災の影響などにより、7カ月連続で前年実績を下回りました。

（自社水力）

出水率は103.2%の豊水となりました。

新潟・福島豪雨の影響により停止中の発電所があることから、発電量は前年を2億4,500万kWh下回る3億4,500万kWhとなりました。

（自社火力）

東日本大震災の影響により、停止した発電所の発電量を補うため、被災を免れた発電所が高稼働したことや、前年との運転状況の違いなどから、発電量は前年を7億2,100万kWh上回る41億6,300万kWhとなりました。

（自社原子力）

東日本大震災の影響および定期検査により、女川原子力発電所の全号機が停止中であること、東通原子力発電所1号機が定期検査で停止していることから、発電量はありませんでした。

（自社新エネルギー等）

地熱発電所の前年との運転状況の違いにより、発電量は前年を200万kWh上回る7,500万kWhとなりました。

（他社受電）

東日本大震災の影響により、他社の発電所において停止しているプラントがあることや、前年との運転状況の違いなどから、他社受電合計では前年を8,500万kWh下回る15億9,700万kWhとなりました。

以 上